

# 6月定例会を傍聴して 市民として議会に関心をもつことは重要



## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

6月28日の米原市議会最終日には多くの市民が傍聴されました。市議会議員選挙が予定される中、議会傍聴は重要です。傍聴された市民から怒りの投稿がありました。

### 看過できない採決結果

現在のコロナ禍の状況の中で、米原市議会では耳目を疑うような請願に関する議論が行われ、看過できない採決結果が起ってしまつた。その請願とは「夫婦・親子同氏を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書の提出を求める請願」である。その採決結果は、

現在の米原市議会議員9名の賛成によって本請願が可決成立し、同請願による意見書が提出されることになつてしまつた。この異常な採決結果を目の当たりにして、呆然とした後に怒りが込み上げるとともに、一市民として、政治に対する関心の重要性を痛感した。米原市の理由及び主張をもとに、この請願の問題点と今後の課題について私見を述べたい。

この請願の問題点と今後の課題について私見を述べたい。

### 「夫婦別姓」は異常とする尻

本請願の第一の理由として、『夫婦別姓は必然的に親子の間で姓が異なる親子別姓になり、別姓は子供にとって好ましくないという声は62・6%にも上り、子供への心の影響を第一に考えるべきです。』と述べられていますが、この第一の理由に関しては、いきなり意味不明です。お母さんは旧姓を通称として働いていたり、それこそ国会議員として活躍したり、ビジネスの交渉をまとめたりしているが、家にいるときは夫婦同姓の戸籍謄本を見せて育て

ると、子どもにいい影響があるなどという理屈は理解不能です。しかし、国際結婚などにより両親が別姓の子どもたちは、そのことを疑問に思うこともなければ、そのことで困ることもない。大人が『多数派でないことは異常』と偏見をもって教えない限りは、ネガティブに捉えることもありません。生活していて困ることもありません。子どもがかわい

そうだとする人は、実在しない子どもを隠れ蓑にしながら、『私は別姓の子どもは異常だという差別意識を持つています』とか『私は子どもにも同調圧力をかける人間です』と表明しているにすぎません。

### 夫婦別姓は社会的要請

第二の理由として、『同姓を名乗るのがよいという考え方が53・7%、別姓導入賛成は42・5%と意見が分かれており、国民世論の賛同を得ているとは到底言えません。しかも、自ら別姓を希望する人は1割にも達していません。』と述べられていますが、この第二の理由に関しては、明らかに調査結果についての示し方に問題があると言わざるを得ない。2018年の内閣府が発表した調査によれば、選択的夫婦別姓制度の導入に向けた法改正に賛成する人の割合は42・5%にもおよび、反対の29・3%を大きく上回った。「自ら別姓を希望する人が1割にも達しない」ということは、今までの夫婦同姓の強制の影響が大きいことは明白である。

### 個人が家族を優先する権利

第三の理由として、『「選択」であつてもそれが導入されると、社会の基盤である家族とその制度に重大な問題を引き起こさざるを得ません。』と述べられていますが、この第三の理由に関しては甚だ疑問が拭えない。同姓であることが「家族の絆」になんらかのよい影響を与えているという根拠は乏しい。あえて言えば、これを主張する人たちは、家族ひとりひとりが家に対して忠実であり、それぞれ夫や妻、父や母という役割をきちんと果たすこととは、国民ひとりひとりが国に奉仕することに繋がる、と考えているようだ。自民党の憲法改正案も「家族は互いに助け合わなければならない」という家族条項を付けて加えようとしている。日本会議をはじめとした保守層が押し進めるこの家族条項は、家長制を復活させて女性差別を温存し、さらに、国が担うべき社会福祉を「自己責任」のお題目のもとで家族に押し付けるものになると危険視されている。

**雑感** 民報発行が山脇議員の議会報告はありましたが2週空いてしまいました。米原市ではワクチン接種の予約受付が26日より50歳以上の方に広がっています。12〜49歳は8月10日からです。「五輪より新型コロナ対策を」「お困り事は日本共産党へ」で共産党は頑張ってます。